

ダウ工業株 30 種

2010.3.11

< 日足から想定される今後1週間程度の相場 >

日足は回帰値(緑色の実線)を僅かに下回る位置で極短い同事足(始値と終値がほぼ同値の足形)となっています。当面は強含みの展開が想定されますが、2月末から連続して回帰値に絡んでおり、リズム感のない硬直した展開が続いています。日足がいつ回帰値から離れる展開となっても不思議はありませんし、その際、どちらへ離れるのかが注目されます。

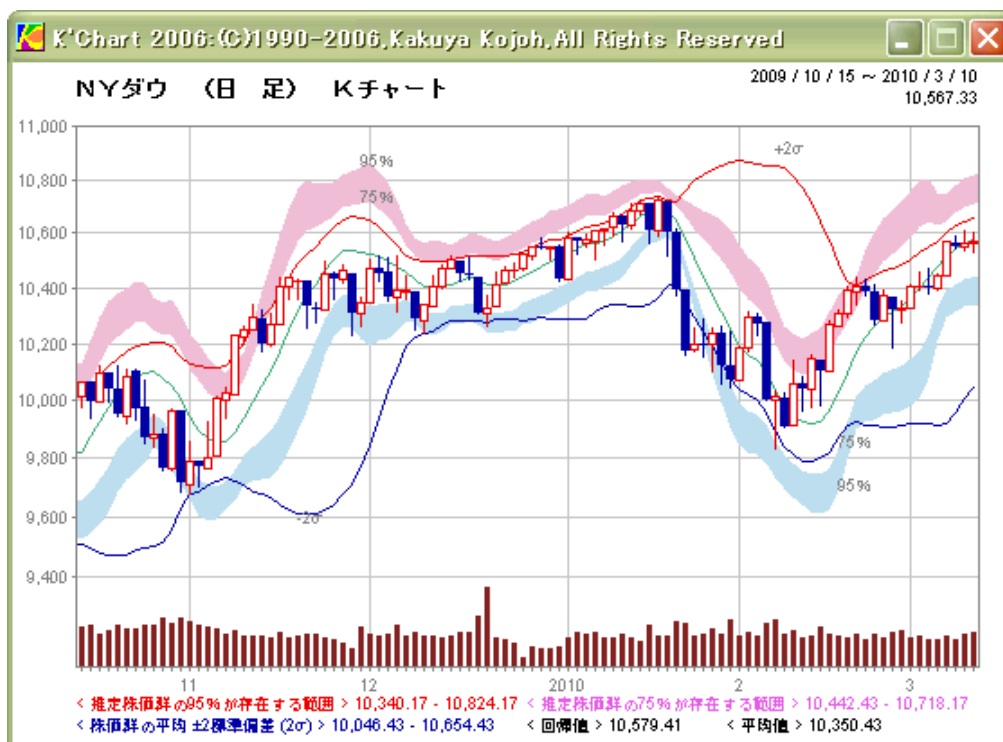
< 週足から想定される今後1カ月程度の相場 >

週足は回帰値と高値圏(桃色の帯)の間で4本同事(始、高、安、終の4本値がほぼ同値の足形)となっています。今週末に現在程度以上の水準で終わるようなら、今後高値圏へ向かって上昇する展開が想定されますが、回帰値を割り込む陰線となって終わるようなら、反落に転じて下値圏(水色の帯)へ向かう可能性も残ります。

< 月足から想定される今後3カ月程度の相場 >

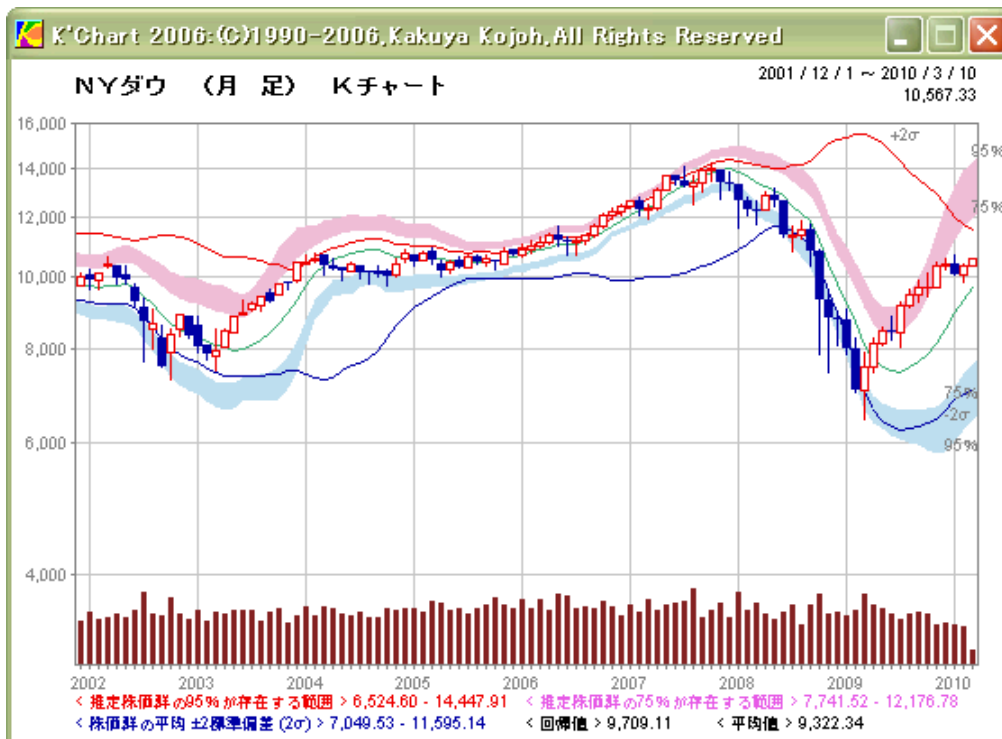
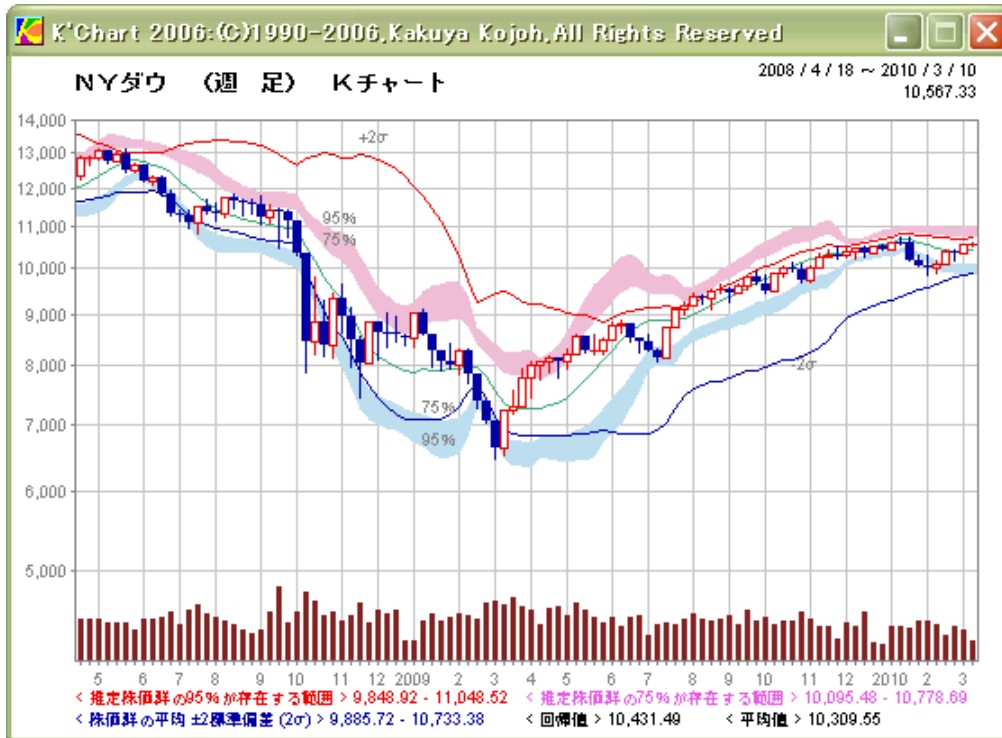
月足は回帰値を僅かに上回る位置で極短い陽線となっています。昨年12月に高値圏から下放れていることから、当面はこのまま横に這って揉み合う展開が想定されますが、回帰値は月毎に上昇しつつあるため、今、来月にも回帰値と出会うことになりそうです。

米国では、景気先行指数が過去のピークを更新し続けており、消費者物価も上昇するなど、景気回復が軌道に乗ったように見えますが、住宅着工件数は下げ止まったものの反発する勢いに乏しく、失業保険申請件数も高水準で推移しており、株価指数が上昇基調に戻るのであれば、何らかのファンダメンタルズの支援材料が欲しい所です。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したものではありませんし、その正確性や完全性を保証するものではありません。事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようにお願いします。



この資料は、テクニカル分析に基づく執筆者の作成日における見解で、有価証券等の売買や特定の投資戦略への参加の勧誘を意図したものではありません。当社が信頼できると判断した公開の情報源から得た情報に基づいて作成されていますが、必ずしも当社の意見を反映したものではありません、その正確性や完全性を保証するものではありません、事前事後の通告なしに変更される場合があります。

この資料にある有価証券等の価格や価値は変動する可能性があり、そのリスクや、外貨建ての場合は、為替相場の変動リスクもお客様が負うこととなります。さらに、過去の実績は、必ずしも将来の成果を保証するものではありません。資料の内容がすべてのお客様に適合的であるとは限りませんし、お客様は、ご自身の状況や投資目的に鑑み、ご自身で投資に関する決定をしていただく必要があります。また、売買取引に際しては国内株式対面取引の場合、最大で約定代金の1.05%(税込)もしくは最低2,625円(税込)の手数料が必要となります。なお、この資料のすべての部分について、目的や方法を問わず、無断での複製、転載、転送などを行わないようにお願いします。